「新たな総合計画における基本的な考え方」の見直し案について

◆ 将来の姿を考え、その実現を目指していく上で、ふくしまの特性（魅力）や時代認識を踏まえた「大事にしたい考え方」

資料１－２

①＜誇り・プライド＞

第３回部会案	見直し案	備考
＜誇り・プライド＞	＜誇り（プライド）＞　（”プライド”を括弧書きに修正）	
福島に「生まれ」「育ち」「働き暮らす」ことや福島県出身者であることを誇りに、国内外から憧れを抱かれるふくしまを創り、次の世代に引き継いでいく。	**【ふくしまにいる、つながることを誇りに次の世代へ】** ふくしまに「生まれ」・「育ち」・「暮らす」ことやつながることを誇りに、「幸せ」を実感できるふくしまを創り、次の世代に引き継いでいく。	○「包むような」表現をとの御意見から、「豊かさ」「幸せ」を実感できるふくしま」を追加 ○ 県外出身者も踏まえた表現に変更
複合災害や自然災害にもくじけず、県外避難者も含め県民が一丸となって復興にひたむきに取り組み、本県に思いを寄せる方々の共感の輪を広げていく。	**【県民のひたむきさを誇りに共感の輪を】** 二重、三重の複合災害にもくじけず、県外避難者も含め県民が一丸となって復興に取り組んでいるひたむきさを誇りにこれからも復興を進め、本県に想いを寄せる方々との共感の輪を広げていく。	○「国内外から憧れる」の表現は削除 ○「共感の輪を広げていく」の表現が「誇り・プライド」の文章として成り立っていないとの御意見から、「県民が一丸となって復興に取り組んでいるひたむきさを誇りにこれからも復興を進め」を追加
急激に変化する時代の中にあっても、本県の歴史、すばらしい伝統、文化、自然を再認識し、その魅力を最大限に活かし新たな魅力を創る。	**【誇れるふくしまの魅力を国内外へ発信】** 本県の歴史、伝統、文化、自然の魅力を誇りに持ち、最大限に活かしながら、新たな魅力を創り、国内外へ発信していく。	○ 急激に変化する時代の流れに沿って「適応」との表現を追加すべき、魅力を創るにつながらないとの御意見から、「適応」を追加し、「挑戦（チャレンジ）」の構成へ修正

②＜連携・共働＞

第３回部会案	見直し案	備考
＜連携・共働＞	＜連携・共働（共創）＞　（”共働”を”共働（共創）”に修正）	
人口減少下においても、持続可能な県づくりを進めていくため、震災以降、行政とＮＰＯ・企業・各種団体等多様な主体との間に生まれた新たな関係性を一層進化させつつ、それぞれの強みを伸ばし、弱みを補いながら、地域間や分野、業種の違いを超えて連携していく。	**【連携・共働し役割を発揮できるふくしま】** 人口減少下においても、持続可能な県づくりを進めるために、震災以降、住民や地域団体、ＮＰＯ、企業、市町村、各種団体等、互いの間に生まれた新たな関係性を一層進化させつつ、それぞれが県づくりの主役となり、つながりを大切に、それぞれの強みを伸ばし、弱みを補いながら、ともに力を合わせ連携していく。	○ 行政主体の表現となっているとの御意見から、住民や地域団体～」の表現に修正 ○「県民の努力～ご縁に感謝しつつ」に違和感があるとの御意見から、県民の努力を削除
これまでの復興を支えてくれた県民の努力、国内外からの支援、ご縁に感謝しつつ、県民や本県に思いを寄せるあらゆる主体とも連携・共働しながら、県の課題に真摯に向き合って、着実に前進させることで国内外の社会的発展にも貢献していく。	**【連携・共働により社会的発展にも貢献できるふくしま】** これまでの国内外からの復興への支援、ご縁に感謝しつつ、県民や本県に想いを寄せる方々とも連携・共働しながら、県の課題に真摯に向き合って、着実に前進させることで国内外の社会的発展にも貢献していくことができるふくしまを創る。	○ ふくしま全体で県づくりを進めていくための表現として、「県づくりの主役」を追加

③＜挑戦・チャレンジ＞

第３回部会案	見直し案	備考
＜挑戦・チャレンジ＞	＜挑戦（チャレンジ）＞　（”チャレンジ”を括弧書きに修正）	
県民が誇りを持てる社会の実現に向けて、「大胆な」挑戦、「きめ細かな」挑戦、そして、多くの方々と「共働する」挑戦など、「挑戦の深化」を進め、未来に向かって行動する。	**【未来に向かって挑戦ができるふくしま】** 一人ひとりが輝ける社会の実現に向けて、「大胆な」挑戦、「きめ細かな」挑戦、そして、多くの方々と「共働する」挑戦など、「挑戦の深化」を進め、急激に変化する時代に適応し未来に向かって行動できるふくしまを創る。	○「一歩一歩の積み重ね」との御意見から、「あらゆる挑戦」の表現を追加 ○ 多様性を尊重した、健全な人だけの言葉ではないとの御意見から、「一人ひとりの個性や多様性が尊重され」を追加
県民一人ひとりの挑戦を支え、失敗を恐れず誰もが様々な挑戦ができるふくしまを創り、県民が輝ける社会を創る。	**【一歩一歩・身近な挑戦を支えるふくしま】** 一人ひとりの個性や多様性が尊重され、誰もが、勇気を持って、何度でもあらゆる挑戦ができるふくしまを創る。	○ 場づくりの支援、失敗しても何度でも挑戦できる表現を　との御意見から、「何度でもあらゆる挑戦ができるふくしまを創る。」に表現を修正

④＜一人ひとりの思いを大切に＞

第３回部会案	見直し案	備考
＜一人ひとりの思いを大切に＞	＜一人ひとりの想いを大切に＞　（”思い”を”想い”に修正）	
一人ひとりの個性や多様性を尊重し、思いを大切にしながら、自分の居場所があり、生きがいを感じることができる「やさしい」社会を創る。	**【やさしさや生きがいを感じるふくしま】** 一人ひとりの個性や多様性、そして存在そのものが尊重され、自分が活躍できる場所があるという実感、自分が誰かを支える存在であるという実感、自分には居場所や戻る場所があるという実感など、やさしさや生きがいを感じることができるふくしまを創る。	○ 腑に落ちて生活できる感覚を大切にすべき、包み込み、心を満たす考えが必要との御意見から、「安心」の言葉を追加 ○ 県民の想いを大切にしていく表現を追加
	【みんなが将来を考えるふくしま】 一人ひとりの想いを大切にしながら、それぞれの良さを認め合い、ふくしまの将来を自分事として考えることができるふくしまを創る。	